

微笑ましい「自己解釈」

本校の学校教育目標のサブテーマは、「自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成」です。

二学期の終わりに、欠席黒板に記入された名前を見て、しばらく考え込みました。「本校の児童に、こんな名字の子どもがいたかな？」…数秒後、納得しました。1年生の児童が、習いたての漢字とカタカナを組み合わせ、工夫して書いてくれたものでした。失敗を恐れず、自ら考え挑戦する姿勢に嬉しさがこみ上げてきました。

私も小学生の時、親が「今回の台風の目は一つはっきりして大きい」と話しているのを聞いて、イメージしたのは『ゲゲゲの鬼太郎』の目玉親父を大きくしたような一つ目の目。それが空を飛んで来るんだ…と恐怖に駆られたことを思い出します。数年後に、理科の学習で台風の仕組みについて学ぶまでそう思い込んだままだったことを恥ずかしく、しかし面白く思い出します。そうやって自分で獲得した知識・技術はしっかりと身につき、忘れません。今回の名字の件も、職員は間違っているとは言わず、本人に気づかせるよう、それとなく誘導しました。少し回り道になっても、このような自己解釈からの気づき・成功体験を大切にしたいと思います。



入学式



【新1年生入学説明会】

1月31日(火)の午後、令和5年度新入生の入学説明会がありました。次年度に向けての準備が始まっていることを実感する時期になりました。

本校の教育方針をお伝えした後、各担当から説明を行いました。特に、初めてのお子さまが入学する保護者の方は不安も多いと思いますが、遠慮なく学校にお問い合わせいただいたり、地域の在校生の保護者の方に尋ねたりして、4月11日(火)のハレの入学式に備えていただければと思います。お子さまと一緒に、今しか味わえない入学前の楽しい緊張感を大切に2か月間をお過ごしください。

(藍畑小学校 088-674-1604)

1年生の成長に思う

先日、登校中に転んで口の周りをケガした1年生の児童がいます。

積雪が懸念された寒い日に、一生懸命お掃除を頑張っている子どもたちを労った際、その子に「お口は大丈夫？」と尋ねました。すると、「ハイ」と首を縦に振りながら元気よく返事をくれた後、まっすぐに私の目を見ながら「ありがとうございます」という言葉を返してくれました。

聞かれたことに返事をするだけでなく、相手の言葉の裏にある心配・気遣いに気がつき、お礼が言える…自分自身が小学1年生だった時、絶対できていなかったなど反省するとともに、高学年でもなかなかできないことをさらりとやってのける1年生の成長が嬉しく、ご家庭の教育に感謝した瞬間でした。まさに、「自ら気づき、考え、実行できる子ども」が育っています。



藍畑小教育

- 学校教育目標
『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-
- めざす児童像
「あ」 あいさつをする子
「い」 いじめをしないやさしい子
「は」 はげましあってがんばる子
「た」 たくましい子